

福島県在宅保健師の会「絆」会報

第25号



会長あいさつ 丹野 由美子

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

昨年は、暑さや熊による人身被害、新年を迎えると、急激な寒さや豪雪により、除雪や屋根の雪下ろしによる事故など、私たちの日常生活が気象の変化等に脅かされる日々になっております。

この一年間は、福島県在宅保健師の会「絆」も、皆様のご協力により、計画した事業が順調に進みました。事業の一つとして在宅保健師による健康な生活応援事業（健康劇）は、4つの地区会で実施することが出来ました。保険者（市町村）からの依頼で出向き、高血圧症等の内容で、地域住民の皆様を対象に健康講座を実施している事業です。「住民の健康寿命を延ばす」、「保健指導をベースにした健康づくりの支援をする」、「地域保健活動を基本とする」、「市町村の保健師を応援する」という狙いで行っております。私自身、以前にこの事業に参加し活動しておりましたが、昨年は2地区の活動を見学して、改めて会員の頼もしさに感動しました。劇の役作りや講話資料の説明を工夫するなど細かい配慮をし、住民の皆様の心をつかみ、笑いや拍手に会員が元気をもらい笑顔になっておりました。正に私たちの長年の経験を活かしての活動です。

また、昨年11月25日、「令和7年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会」が東京で開催されました。この会は、全国の在宅保健師等会の情報交換と協議を目的に組織されております。全国38都府県に3,281名の構成員（令和7年8月1日現在）がおります。6年ぶりに参集にて東京で開催され、私と国保連合会の事務局とで参加してまいりました。この場で、当会「絆」も活動報告の機会をいただき発表して参りました。活動の背景や抱えている課題（会員の高齢化や減少など）は他県の会もほぼ同じであり、他県の活動からヒントをいただき、「絆」として特徴ある活動へつなげて行ければと思っております。専門職の会「絆」として、皆で県民の健康づくりに少しでも役に立てるよう活動を続けてまいりましょう。本年もよろしくお願いいたします。



会活動・実績

1 役員会：3回

「絆」の事業について役員の皆様に協議いただきました。

場所：国保会館

	開催月日	報告・協議内容等	出席委員
1	令和7年5月21日(水)	・在宅保健師による健康な生活応援事業について ・地区会活動について	7名
2	令和7年7月14日(月)	・総会における報告事項、協議事項について ・役員改選について	7名
3	令和7年10月30日(木)	・令和7年度事業計画について ・「絆」事業の活動年度について	11名

2 総会・研修会

日 時 : 令和7年9月10日(水)
13時~15時40分

場 所 : ホテル福島グリーンパレス(福島市)
参加会員数 : 19名

総会内容 : 令和6年度事業実施状況報告について
令和7年度事業計画(案)について
役員改選について



役員紹介

会 長 丹野 由美子(県北)
副 会 長 吉田 良子(浜通り)
幹 事 松田 愛子、**穴戸 由美子**(県北) 猪越 京子、佐藤 七重(県中・県南)
本名 光子、佐瀬 美恵(会津) 菅野 クニ、**松本 ミツ子**(浜通り)
常任幹事 近江 邦子 (国保連合会)
顧 問 七宮 ひろみ(県中・県南)

※役員全員の継続に加え、新たに2名(青字)が就任されました。

新役員さんからの一言

- ❖ 今年の春、フルでの行政勤務を卒業します。これからも人とのふれあいを大切にしながら、微力でも社会に恩返ししていきたいと願っています。素敵な先輩方がたくさんいる「絆」の会の皆さまとも、交流や活動で親交が深められたらうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。(穴戸由美子)
- ❖ 「絆」の会を通して、県内の会員の方々と交流ができることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。(松本ミツ子)

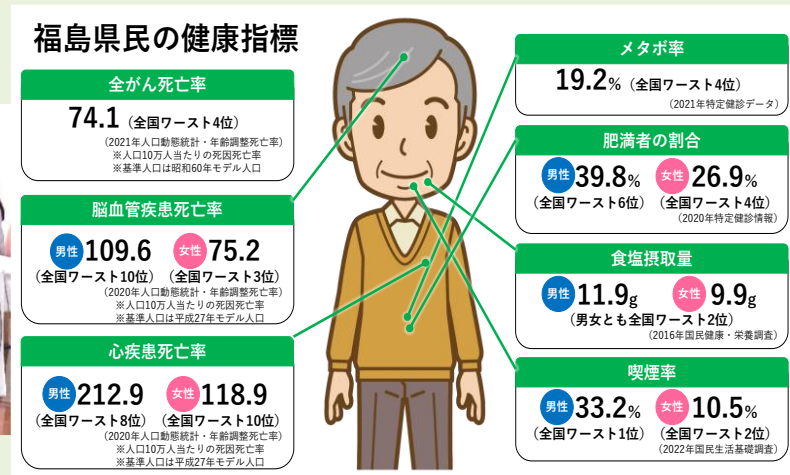
※ 役員の任期は2年間ですが、令和9年度から在宅保健師の会「絆」の活動年度が、現在の10月~9月から4月~3月に変更となる予定であるため、現役員の任期は「令和7年10月1日~令和9年3月31日」となります。

《研修会（総会後に開催）》

「福島県の生活習慣病対策について」

講師：福島県保健福祉部健康づくり推進課

科長 佐藤 陽香 氏



県民の健康寿命はワーストクラス！約3人に1人が肥満であり、年齢調整死亡率の推移をみると、心疾患・脳梗塞・糖尿病いずれも全国ワースト10位以内である。また若年層で糖尿病有病者、収縮期血圧140 mm Hg以上の者の割合が増加しており、県は「減塩・禁煙・脱肥満」を重点スローガンに事業を展開している。

3 受託事業（令和7年4月～令和8年3月）

国保特定保健指導事業

市町村における特定保健指導の実施を支援する事業です。

今年度は鏡石町から委託を受け、特定保健指導（動機付け）対象者に訪問指導を行いました。

▶訪問指導実施数：12名 事業協力員（県中・県南地区会員）：3名

《特定保健指導力向上研修会》

特定保健指導に関する知識や技術を習得すること、地域で活動を行う際にも活用できることを目的に全会員対象に開催。

日時：令和7年4月23日（水） 10時～15時

場所：杉妻会館（福島市） 参加会員数：18名

内容：「効果的な特定健診・保健指導を実践するために」

講師：河井 幸子氏（元茨城県潮来市保健師）

《参加者の感想》

- ✦健診データの読み込みが大事で、心電図所見の捉え方、脳・心・腎をよく見るのが大事だとわかった。
- ✦経年変化に基づいた健診結果を対象者に伝えることが大切だとわかった。
- ✦住民が自分で考えて行動を変えることができるような支援をしていきたい。

4 在宅保健師による健康な生活応援事業

（旧）保健師劇団がリニューアルしました！

「健康劇」の名称で活動していた事業が「在宅保健師による健康な生活応援事業」として生まれ変わりました。役員会で協議を重ねた結果、劇により健康課題を見える化し、講話と健康体操を含めた「健康教育」として、市町村のポピュレーションアプローチを支援する事業に位置づけられました。

《健康な生活応援事業運営委員会》

シナリオ検討委員会は、事業内容を検討する委員会として「健康な生活応援事業運営委員会」に名称を変え、講話内容の修正、健康教育参加者への配布資料を検討しました。

運営委員会: 4回

場所: 国保会館

月日	3月7日(金)	5月21日(水)	7月14日(月)	10月29日(木)
出席委員	9名	6名	6名	11名

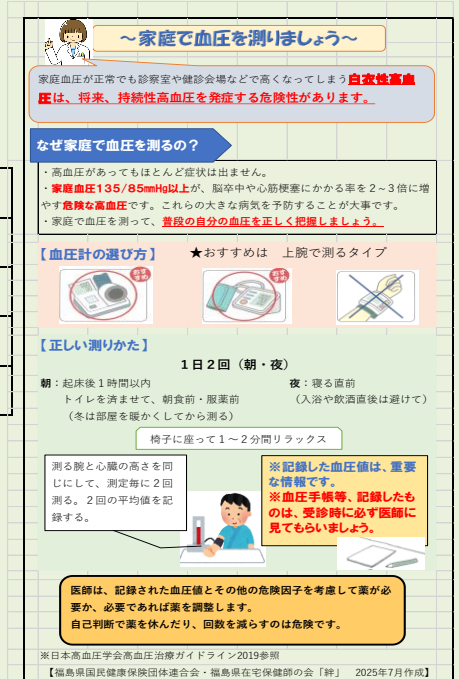
「絆」で作成した資料「～家庭で血圧を測りましょう～」は以下の実施会場で、市町村の保健師さんに説明してもらい、配布しました。

「絆」で作成した住民への配布資料

《在宅保健師による健康な生活応援事業実施状況》

	実施月日	実施市町村	実施内容	協力会員
1	9月12日(金)	国見町	認知症予防	4名
2	11月11日(火)	大玉村	高血圧症	4名
3	12月5日(金)	会津美里町	高血圧症	3名
4	12月11日(木)	石川町	認知症予防	5名

「良い資料なので他の事業でも使わせてほしい」と町の保健師さんより問い合わせあり



《在宅保健師による健康な生活応援事業に参加して》

❖会津地区では何年も実施できずにいましたが、町の保健師に連絡したところ、快諾をいただきました。当日は他地区のベテラン会員の協力をいただきました。代表の方からは「来年もまた来てほしい」という嬉しい言葉もいただきました。(佐瀬美恵)



来年も来てほしいなあ!

- ❖ 県中・県南地区は石川町で行い、認知症は「明日は我が身」ということがあり、男性の参加も多く、熱心に聞いていました。365歩のマーチの体操では、高齢者パワーが全開でした。私たちの活動が県内に広まり、地域住民の健康づくりの一助になればよいと思います。地元での開催に緊張しました。(大賀桃江)
- ❖ 県北地区は国見町で行い、劇、講話、健康体操を交えた内容に住民の皆様も熱心に笑顔で参加されていました。地域に出向き住民の健康寿命の延伸に貢献し、笑顔を見ることができて保健師としての醍醐味を感じた次第です。(小林富美子)

5 地区会活動

本県は方部ごとに4つの地区会があり、情報交換、交流を目的に開催されています。親睦を深めることも大切な活動です。

<県北地区会>

未定(開催場所を含め、現在検討中です。役員より案内がありましたら参加ください)

<県中・県南地区会>

未定(4月頃を予定しております。役員より案内がありましたら参加ください)

<会津地区会>

令和7年3月15日(土) 参加会員数:8名

- ・「絆」の活動について
 - ・在宅保健師による健康な生活応援事業について
- ※令和8年3月に予定しています

<浜通り地区会>

令和7年6月28日(土)参加会員数:8名

- ・「絆」の活動、県内の動きについて
- ・在宅保健師による健康な生活応援事業について
- ・令和7年度活動について

会津地区会の様子



おいしいランチをいただきながら交流を深めました。

7 都道府県在宅保健師等会全国連絡会

今年度は6年ぶり参集開催!

在宅保健師等へ最新の情報を提供するとともに市町村への支援活動の在り方について考えることを目的に開催されました。

日時: 令和7年11月25日(火) 13時~17時

場所: サウスヒル永田町(東京都) 出席者: 丹野会長、事務局

《内容》

① 講演:「これからの保健師活動-退職保健師の活躍への期待-」

厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室長後藤友美氏より、40歳代の保健師が少ない現状や神奈川県では「人材育成マネージャー」として退職保健師を配置している等の話がありました。

② 事例発表:「香川県在宅保健師会「オリーブの会」活動状況報告」

香川県在宅保健師会「オリーブの会」会長起弘美氏より、国保健康教室講師派遣事業の一環として実施したACP(人生会議)の普及活動の報告がありました。

③ 活動報告:「在宅保健師等会の活動」

在宅保健師等会役員会前役員7名より、それぞれの会の状況や実施事業の報告がありました。

④ 報告:「令和7年度都道府県在宅保健師等会に係る調査結果の報告」

国民健康保険中央会、保健事業課より報告がありました。

⑤ 意見交換:「在宅保健師等会の活動」の進め方について

都道府県在宅保健師等会会長グループと都道府県国民健康保険団体連合会グループに分かれグループワークを行いました。

《都道府県在宅保健師等会全国連絡会に参加して》

WEB 会議とは違い対面での話し合いは収穫が多く、終了後は情報交換会が開催され、事務局であります国保中央会の担当の方ともお話しする機会があり、全国の動きや、活動のヒントなど、刺激をいただきました。(丹野由美子)

今年度より WEB (Zoom) 開催

8 東北地方在宅保健師等会連絡会議

東北6県+新潟県の7県合同会議で、在宅保健師等が国民健康保険の動向や課題を理解し、ニーズに応じた保健事業支援を行うための知識や技術を習得するとともに、在宅保健師等会としての役割や活動の方向性を考える機会とすることを目的に開催されました。

日 時： 令和7年12月4日(木) 10時～15時50分

開催方法： WEB (Zoom) 国保会館 出席者：役員4名、会員1名、事務局3名 主催県：秋田県

《内容》

- ① 各県からの活動状況報告
- ② 各県からの活動状況報告に対する質問、意見交換
- ③ 都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員について

全国7ブロックに分かれており、東北は東北6県と新潟の7県のブロックです。役員任期は2年で、令和7年10月から丹野会長に代わり、宮城県の青沼会長が就任しています。

- ④ 講演：「国保保健事業の動向と在宅保健師等会活動の今後の展望」

国民健康保険中央会保健福祉部保健事業課参事山口道子氏より、令和7年度都道府県在宅保健師等会に係る調査結果報告と山口参事が地域で取り組んでいる「世代や属性を超えて交流できる居場所づくり」の紹介がありました。

- ⑤ 特別講演：「頼り上手は頼られ上手～受援力のススメ～」

神奈川県立保健福祉大学大学院教授吉田穂波氏より、受援力とは助けを求め受け入れる力のことであり、災害用語として始まったが、現在では生きる力、周囲とつながる力として再評価されているなどの講演がありました。

《東北地方在宅保健師等会連絡会議に参加して》

☆在宅保健師として何ができるのか、改めて考える機会になりました。今後の人生でやれることをやるだけという思いで生活をしていきます。(松田愛子)

☆国の動向や人口構成がどうなるのか、国保の対策としては何をしようとしているのか、自治体保健師の減少など理解することができました。自分に何ができるか考えさせられました。(松本ミツ子)



会員の状況

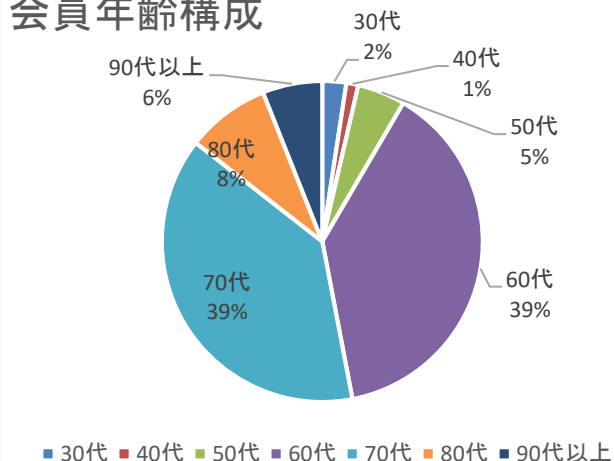
令和7年2月～令和8年1月の期間に新たに6名の方が入会されました！

会員数：83名（令和8年2月末現在）

《地区別会員数》

地区	人数
県北	34
県中・県南	20
会津	14
浜通り	15
計	83

会員年齢構成



住所や連絡先等に変更がありました際には、事務局までお知らせください❀

➤会員の皆さま、関係者の皆さまへのお願い

保健師資格をお持ちの方で、在宅におられる方、退職される方がおられましたら、ぜひお声掛けくださるようお願いいたします。嘱託・再任用で働いている方も入会できます。

随時、会員の申し込みを受け付けています！（入会費・年会費無料）

申込書類をお送りしますので、下記事務局まで連絡をお願いします。

～ 会員になると、こんな良いことが ～

- ★無料で研修会等を受講できます。
- ★地区会活動（交流会等）に参加できます。
- ★今までのキャリアを生かして、市町村保健活動の支援ができます。
- ★会報が届きます。



・・編集後記・・

事業の見直しや拡大、活動年度の見直しなど「絆」の活動が皆様のパワーで再構築された1年でした。新たな一歩に向け、これからもよろしくお祈いします。

（近江邦子）

福島県在宅保健師の会「絆」会報 第25号

発行日：令和8年3月

事務局：福島県国民健康保険団体連合会 保健事業課

〒960-8043 福島市中町3番7号

TEL024-523-2738 FAX024-523-2704



会報などでよく使わせていただくこの「絆」の文字。

どなたが書いてくださったものか ご存じですか？

▶本会の会員でもありました書道家の故 荒井園子さんから寄贈いただいたものです。また、「絆」という名称は、会創設 10 周年記念に併せ、会員の皆さまからの愛称募集により命名されました。